

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

子ども虐待による死亡事例検証結果を用いた研修に関する調査研究

<実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

(以下、調査研究報告書の概要を記載。)

【目的】

子ども虐待による死亡事例検証結果を用いて、日々のソーシャルワークに活かす研修を開発することを目的として実施した。具体的には自治体から事業協力を得て、過去の重大事例の検証結果を基にソーシャルワーク上の課題を聞き取り、それに類似する他地域の事例を題材にした架空のケースを考案した。当該ケースを基に構築した研修カリキュラムにより、自治体においてモデル研修を実施した。参加者のフィードバックを得て、研修の狙いが達成されたかを確認した。

【概要】

○コンテンツ開発

- ・モデル研修協力自治体からのヒアリング
- ・題材事例選定のための過去の報告書の読み込みと整理
- ・題材事例を基にした教材の作成（ストーリー構築、受講者ディスカッション用設問設計、ワークシート作成）

○モデル研修

- ・開催日時：令和3年1月25日（月）13:00-15:30
- ・方法：オンライン
- ・参加者：26名

○事業検討委員会

- ・委員6名、オブザーバー1名で構成。座長は置かず自由討論方式とした。全5回開催

【結果】

事業を通じて研修のカリキュラム作成プロセスを整理した。モデル研修の満足度は高いことがアンケートで示された。他方で時間配分に関する要望があったため、終日開催型の研修アジェンダをモデル研修後に構築し、報告書で示した。これにより、今後、死亡事例検証を用いた研修を企画開催する自治体が本事業を参考に自主企画できるものと考えられる。